

体育館の無料開放を行っています

県青少年会館の体育館を、毎週水曜日の午前10時から正午まで村民に無料開放しています。時間中は村の担当職員が、卓球やポッチャ等の用具も用意して体育館にありますので、どうぞお気軽にご利用ください。

♪利用日は3月13日までの毎週水曜日(午前10時～正午)
※次年度の実施も検討しています。

♪卓球・バドミントン・ポッチャ・輪投げ等のスポーツや、サークル活動に利用できます。

♪シューズ・飲物・タオル等は各自持参してください。

♪申し込みは不要です。時間内に直接おいでください。
※ただしサークル等の団体利用は前日までに生涯学習係 ☎024-562-4240(担当 森永)へご連絡ください。

♪送迎は特にありません。自家用車などでおいでください。最寄りのJR南福島駅からは徒歩約20分です。

福島県青少年会館 体育館
福島市黒岩田部屋53-5
☎024-546-8311



▲ポッチャの対戦も気軽に



▲村に寄贈の卓球台10台を活用

利用者にお聞きしました



毎週来ています。村の人と触れ合えるのが一番



ここで運動した日は夜もよく眠れますよ

卓球は始めたばかり。体を動かさないとね

運動と憩いのひとときを一緒に過ごしましょう

教育のページ

生涯学習係からのお知らせ



放射線教育が始まりました



▲研究授業として公開された草野・飯樋・臼石小5年生の授業

たっぷりほめる
しっかりかる

教育のページ



▲ビデオを使って分かりやすく説明します

村教育委員会では、子どもたちが放射能・放射線を正しく理解し、正しく対応できる力を身に付けることができるように、今年度から小・中学校での放射線教育を実施することとしています。そのため、教員対象に放射線教育の研修会を行うなど、実際の授業を行う準備を進めてきました。

今年度の放射線教育は、2学期から行っています。1月22日には、飯館中学校の2年1組と草野・飯樋・臼石小学校の5年生を対象に放射線教育授業研究会が行われました。このうち草野・飯樋・臼石小では、「健康的な生活を送るために」をテーマに、日常生活での放射線から身を守るために気をつけることなどについて、3校合同の授業がありました。担任の先生から放射線の性質や外部被ばく・内部被ばくについての説明があると、児童たちは真剣な表情でメモを取り、熱心に授業を受けていました。この日授業を担当した先生は「外部被ばくと内部被ばくがあることを知って、健康的な生活を送るために心がけなければならないことを分かって欲しい」と話していました。

児童の感想



菅野龍聖くん(飯樋小)

放射性物質はいろいろなものに含まれていること・外からの放射線を防ぐ方法などが分かり良かったです。毎日うがい・手洗いなどをして放射線から自分の体を守りたいと思いました。



巻野瑠衣さん(草野小)

最初は、がんは放射線があるからなのだと思います。アンバランスな食事やお酒の飲みすぎ、たばこの吸い過ぎも関係することがこの勉強で分かりました。



花井沙也香さん(臼石小)

食べ物や飲み物は、検査済みの食品を選んで、規則正しい生活を送り、健康でいたいです。外から帰ってきたら、ほこりを払ったり手や顔を洗ったりしていこうと思いました。

子育て相談室

アイデンティティー

アイデンティティーとは、「自分は何か」「自分の目指す道は何か」「自分の持つ自分らしさは何か」などと、自分の存在そのものへの問いかけです。中・高校生の時代はこの問いかけに回答を示す年代です。

これに肯定的な回答を出すことができれば人生が発展的になりますし、答えを胸の中に示されなければ幼児性が残り、否定的であれば人生の見通しが明るくなくなり、否定的です。アイデンティティーの確立は昔も今も万国の人間に共通する思春期特有の重要な課題です。

人生は何をもって生きるか、そのよりどころは自分の持つアイデンティティーなのです。夢や願いは思春期の学びの努力によって獲得したアイデンティティーによって実現します。

昨今の、飯館中学校の3年生諸君の学びの姿勢と努力は特筆に値します。県北地方に避難し、受験事情が変わったこともあるのかもしれませんが、実によく努力しています。肯定的なアイデンティティーの確立を期待するともに、近くは高校入試の成就を祈ります。

飯館中学校スクールカウンセラー
臨床心理士 海野 和夫
教育相談申し込み
飯館中学校 ☎024-573-1161
幼児、小学生の相談にも応じます。